

学校だより4号 平成29年6月15日発行

きずな

北九州市立折尾西小学校
校長 二宮 利之
児童数529名



運動会のご声援 ご協力 ありがとうございました

運動会が終わり、梅雨がやってきました。子どもたち、教職員、そして保護者・地域の方のみんなの熱い思いが伝わり、予定通りに運動会が開催できたこと、本当にありがたく思っています。

今年度は、子どもたちの疲労面を考え、時間短縮の措置を様々にとらせていただきました。ご協力ありがとうございます。

- ・徒競走は、一組がゴールし終わって、次の組を走らせてはどうか。
- ・昼食の時間は、後20分は確保した方がよいのではないか。

など、教職員間でも論議をしました。来年には、よりよい内容で、子どもたちの負担感を少なくした運動会をさらに追求したいと思います。

2週間という短い練習期間でしたが、練習の成果を発揮し、素晴らしい演技をすることができました。節度と一体感のある、引き締まった運動会を作り上げ、成功させた子どもたちへ、惜しみない拍手を送りたいと思います。

また、保護者ボランティアとして、テント設営・会場の準備や後片付けにご協力いただきました。本当にありがとうございました。また、いつものように、スクールヘルパー・生活安全パトロールの地域の方々にも、児童席のテント設置・運動場の整備にお力をいただきました。本当に、感謝の念でいっぱいです。今後とも、皆様のご協力をお願い致します。

6・7月の学校行事予定

17日(土)	【土曜日授業】	則松中校区一斉清掃
19日(月)	演劇鑑賞会【全学年】	プール開き【6年】
21日(水)	学習参観 学級懇談会	規範意識教育・修学旅行説明会【6年生】
22日(木)	クラブ活動	眼科検診
26日(月)	校納金再振替日	
27日(火)	自転車教室【3年生】	
29日(木)	クラブ活動	心臓二次検診【抽出児】
30日(金)	社会科見学【3年】	
7月 3日(月)～7日(金) 下校時刻変更期間		
13日(木)	個人懇談会	1日目
14日(金)	〃	2日目
19日(水)	給食終了	
20日(木)	終業式	
21日(金)	夏の教室	1日目
24日(月)	〃	2日目
25日(火)	〃	3日目



高学年の評価テストのレベルアップについて

最近、お子様の評価テストをご覧いただいていますか。「あれれ、前の学年よりすごく点数が取れていない教科があるぞ。」

と不安に思われている保護者の皆さんもいらっしゃると思います。

特に、五年生の算数科・国語科については、そのような思いをもたれていることと思います。

実は、昨年度より五年生の国語科と算数科の単元ごとの評価テストは、市の教育委員会が作成した評価テストを使っています。(今年度は、第6・4学年にも、年間数枚行われます。)

評価テストには、企業が作っている業者テストというものが、一般的には、保護者に費用負担をしていただいで、このタイプの評価テストを使用しています。ところが、

北九州市は、国語科と算数科の学力をさらに向上させるために、現場の教師が作成した独自の評価テスト(無料)を作成し、活用することを始めました。

特に、話題となっている全国学力状況調査において、北九州市の子どもたちの多くが不得意としている問題形式を分析し、その問題に対応できるような力を育てる設問を入れた評価テストにレベルアップしています。

北九州市の子どもたちは、習ったことを直接答えたり、問題文で問われたことにふさわしい言葉・情報を抜き出して回答する問題には課題は少ないのですが、「情報と情報を比べたり、関連させたりして、自分の考えを書きまとめる」

「書かれている意見を読んで、自分が反対か・賛成か立場を明確にし、理由を添えて書きまとめる」

「問題を解いた道筋を書いて説明する」

などの判断力・思考力・表現力を駆使する問題に無回答であったり、正答できなかつたりする傾向があります。そこで、それらを授業で鍛え、評価テストで力が付いたかを確かめるように変えたのです。折尾西小学校の高学年の子どもたちの、この領域の力は、北九州市の平均をかなり上回っていますが、まだまだ鍛えなければならない状況です。

高校入試や大学入試も、似たような考え方で、問題の内容が変わってきています。ここで説明したような力を身に付けることが、将来、自分が進みたい道に進むための大切な要素になると考えています。

以上のように、子どもたちの不得意な問題が多く含まれていますから、このテストは、企業が作っているテストより、なかなか難しいというのが実情です。なかなか、点が取れていないなあということも実感です。この難しい評価テストでも、点が取れるように、「毎日の学習活動や問題設定をよりよいものにして鍛えていく」

「できなかった問題を、きちんと解説して、やり直しをさせる」

など、一人一人の力を伸ばすために、担任教師も取り組んでいます。評価テストをする時間、答え合わせや問題解説をする時間は、本当は学習指導要領上は設定されていません。時間の捻出が難しいのです。しかし、何事も子どものため、何とかやりくりをして、丁寧に行いたいと思います。